



# インガラーバー

こんにちは

NPO法人  
日本・ミャンマー  
医療人育成支援協会

〒700-0811  
岡山県岡山市番町2丁目6番7号  
TEL:086-224-0102  
URL:http://www.mjcp.or.jp

## 仏教遺跡バガンの夕景をいつの日か

協会理事(岡山毎日広告社会長)

前坂 匡紀



ミャンマーを訪ねたのはもう五年も前のこと。一週間ばかりの滞在の間、心に刻まれる風景に幾度も出合った。まず、ヤンゴン港から眺める悠々たる大河ヤンゴン川。とうとうと流れゆく褐色の水を眺め、旅の間いろいろなことを想ったものだ。

ただ、この大河さえもエーヤワディ川から分岐した二支流に過ぎない。エーヤワディ川はヒマラヤ山脈の南端に発し、国土の中央部を北から南へ縦断、下流でヤンゴン川を含む九つに分流して広大なデルタ地帯を形づくる。流域面積41万平方キロ、延長2170キロ。そう聞いてもピンと来ないが、岡山県最長の旭川の約15倍の長さを知って、うーん…と唸ってしまった。

語の表記も変わったのだとか。ヤンゴンから八時間の悪路を二山越え、やつの思いで辿り着いたゴールデン・ロックスは、私のこれまでの人生のなかで最も印象深い光景のひとつとなった。ミャンマーでも屈指の仏教聖地チャイテイヨーにある聖なる岩。釈迦が山頂まで運び上げたという落ちそうで落ちない不思議な大岩。その巨岩が、信者たちがお布施として一枚一枚張り上げた金箔におおわれて、まさに黄金色に燦然と輝いているのだ。この想像を絶する光景はおそらく一生忘れることができないだろう。

ゴールデン・ロックとともにヤンゴン市内の世界最大の仏塔シユエダゴン・パゴダをはじめとする壮麗なパゴダ群もありありと脳裏に浮かぶ。「パゴダ」という言葉は、英語では「仏塔」一般を意味するが、厳密に言えば「ミャンマー様式の仏塔」を指すのだそうだ。ミャンマーでは「バヤ(やや大きい仏塔)」「ゼー

**総合事務所 野崎明司法書士事務所**  
 tel: **086-273-2225** fax: 086-273-2106

**STAFF**  
 司法書士・行政書士 野崎 明  
 司法書士 中谷 清子  
 土地家屋調査士 太田 正孝  
 税理士・行政書士 保都 直良  
 公認会計士・税理士 石村 顕示

登記・測量・破産・少額訴訟・遺言・成年後見・監査・税務(相続・贈与・売買)等、お気軽にご相談下さい。

〒703-8233 岡山市高屋219番地14  
 homepage address: <http://www.office-nozaki.com>  
 E-mail: [info@office-nozaki.com](mailto:info@office-nozaki.com)

中央部、エーヤワディ川の中流東岸の平野に点在する、大小さまざまな寺院やパゴダ。その数は3000以上といわれ、赤っぽい茶色や純白など色彩も実に鮮やかだ。観光写真でバガンの日没風景を見て以来、いつかきつと訪ねてみたいと念じている。

ところで、このバガンの寺院群は現在、ユネスコ世界遺産に登録申請中だという。世界遺産に登録されること、われら岡山にもある。

▲深夜、聖なる岩に金箔を貼り、祈りを捧げる人たち

# あかね動物病院



**Policy** ●心のこもったサービス精神 ●動物達・飼い主様の満足 ●動物にやさしい治療  
●健康診断・ドックの推進

〒720-0002 広島県福山市御幸町下岩成114-3  
**TEL (084) 955-0505** FAX (084) 955-0909  
 ■診療時間/午前: 10:00~22:00【緊急対応24時間】  
 ■休診日/毎週月曜日

**大型 駐車場完備 [30台]**

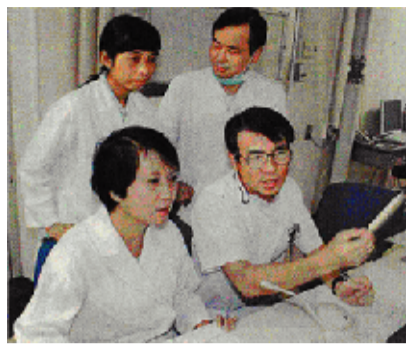
午後10時まで診療をおこなっております。  
**緊急対応24時間 いたします!**

「ペットホテル」「グルーミング」もごございますので、ご利用下さい



# 研修を終えて

— 有意義だった日本での研修 —



▲CTの撮影画像を見ながら放射線技師から説明を受けるテルシさん(手前左)とニユンさん(奥左)

ノウテルシ医師(Dr. N. W. Theisy)とニン・パン・ニユン医師(Dr. H. N. Pan Nyunt)は平成19年10月1日より12月8日までの10週間、私たちのNPO法人が招聘し、岡山大学外国人

研究員として、岡山大学放射線医学教室(金澤右教授)で研修を受けました。この手記は日本を離れる前々日に残したものです。現在、ネピド総合病院放射線科の中心となって活躍しています。

ネピド総合病院 ミャンマー放射線科シニアコンサルタント  
ノウ・テルシ  
(ノー・テイ・セー  
現地語に近い表記)

ミンガラバー  
私はミャンマーのネピド総合病院シニアコンサルタントのノー・テイ・セー(書類上はノウ・テルシ)です。CT、MRI等の画像検査と診断を岡山大学で10週間勉強するために、ミャンマー政府か

ら派遣されて来ました。2007年5月に64スライス・マルチディテクターCTを勉強するために東京と那須塩原に来たことがありますので、私が日本に来たのはこれが2回目です。

日本での毎日は楽しいです。病院では先生方、放射線技師の方々はとても優しく、知らない事をいろいろと教えてくれました。放射線科の医師はとても優秀で知識、経験が豊富でした。ここで勉強することができ、多くの知識を吸収することができました。ミャンマーでは診断したことがない病気に関する勉強することができました。

ここでの毎日の生活はあまり大変ではありませんでした。しかし私は日本語を話せないのが買い物が大変でした。店員が言っていることが理解できず、表示してある内容が分からなかったため何度も間違えて買ってしま

うことがありました。また、日本のお米は私にありませんでした。もちもちとして消化が悪く、お米を食べた後は膨満感や腹痛に悩まされ、よく下痢をしました。帰国する少し前になつてやっと慣れてきました。しかしそれとたいした問題ではありませんでした。

今振り返ると、時にミャンマーの家族が懐かしくなりましたが、日本での生活はとても楽しかったです。

最後に毎日いろいろとお世話になった皆さんに感謝したいと思います。特に西山さんに感謝しています。西山さんの助けがあったからこそ毎日問題なく過ごすことができました。毎週日曜日の西山さん主催の日本語勉強会も楽しかったです。この勉強会を通して知り合いもたくさんできました。ミャンマーに帰っても日曜日に日本語を勉強した事を思い出してほしい。My God bless you. いつまでも忘れません。

私はCT、MRIのトレーニングのためにミャンマーから岡山大学病院に来た放射線科コンサルタントのニン・パン・ニユンです。現在はミャンマーのネピド総合病院(300床)で働いています。CT、MRIの勉強のために政府から派遣されてきました。

私が来たのは初冬だったので、岡山の気候は涼しくて気持ちのいいものでした。岡山大学病院の放射線科医師、放射線技師の方々はとても優秀で、私達を歓迎してくれました。放射線科の医師には画像の読影、診断に関してたくさん教えていただき、多くの知識を得ることができました。今まで診断したことのない病気の勉強もできました。京都、倉敷への観光に行けるようにしていただいた岡田先生と西山さんには、とても感謝しています。毎週日曜日には日本語を教えていただき、私はミャンマー語を教えました。この時に日本の知り合いがたくさんできて良かったです。岡山大学でCT、MRIを勉強するにあたって、いろいろと助けていただいた放射線科教授の金澤先生、清

## 昨年の活動を振り返って

理事長 岡田 茂

先生と放射線科医師の皆さん、岡田先生、西山さん、萩谷さん、ニヌワさん、スエ・タンさんをはじめ全ての人に感謝しています。いつまでも忘れません。

子(ね)の年が始まりました。折に触れた挨拶でよく述べられているように、繁栄の年であってくれれば嬉しいです。昨年度の活動を概括します。キン・マウン・ウー医師は循環器内科で6ヶ月の研修を終え、昨年4月30日に帰国されました。現在は西ヤンゴン総合病院で小児心臓病の中心医師として活躍しています。岡山大学の大江教授、赤木助教には大変お世話になりました。この間、1月15日より3月25日の10週間、病理学のグ・ウ・ミン医師は中央ミャンマーの医学研究局から研

修に来ました。ミャンマー国では子宮癌の検診はまだ行われていないので、検診に必要な人材育成という役割です。この研修は、昨年の、ム・シユエ医師とモー・モー・アウン医師に続く3人目の病理医です。岡山協立病院(豊田医師)、岡山済生会病院病院(浜家医師)、岡山大学病院(柳井准教授、大森講師)、倉敷芸術科学大学細胞病理学研究所(大野教授)には大変お世話になりました。ミャンマーではこれら3人の病理医が中心となって子宮癌検診が本年4月から始まります。これはミャンマー保健省と岡山大学・私たちのNPO法人が一体となって進める事業です。

エイ・エイ・ルウインは昨年の3月に大学院を卒業し、医学博士の学位を取得して帰国しました。帰国直後に医学研究局で昇進があり、学位を取得したと同じテーマのC型肝炎の研究を継続することが認められました。ミャンマー保健省は一般に公務員の海外研修は短期のものしか認めていませんが、このような事は私たちへの信頼とも結びついた稀な例といえます。

新首都ネイ・ピー・ドウにできた総合病院はまだ私も訪れていませんが、設備もまだまだ揃っていないようです。逆に設備は新しいと言ってしまうような悲劇もあるようです。その様な環境にある新病院の放射線科医ノウ・テルシとニン・パン・ニユンの2人がCT、MRIの研修を岡山大学病院放射線科(金澤教授)の下で受けました。

丁度、ミャンマーでは物価安定の僧侶のデモが行われ、騒然としていた時の10週間です。12月初めに研修を終え、帰国されました。現在、ウイン・パ・パ・ナイ医師が長崎大学で血液の研修を行っており、また、岡山大学ではム・ム・シユエ医師が2度目の研修を原野先生の下でおこなっています。彼女たちについては再び「ミンガラバー」でお目にかかると思います。

ミャンマーの貧しい地域に診療所を寄付したいという下野理事の願いがやっと叶えられることになりました。この3月には、贈呈式に共同出席する予定です。これからは、皆様のご支援のおかげで、皆様方のご支援、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

一人でも多く会員を増やし、皆様のお役に立てる会にしたいと思っております。皆様方のご支援、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。時節柄ご自愛ください。

## 広報室から

立て続けに値上げが実施され、偽装の発覚も相次ぎ、果ては毒の入った餃子騒ぎと穏やかではない年の幕開けです。そのせいか今年の冬は殊更に寒いような気がいたします。そのような中にあつても人と人とのふれあいや思いやりが心を暖めてくれるようです。私たちの活動も隣から隣に灯火を点けていくように着実に広がっていきたくと思っております。